

(仮称)

尼崎市下水道ビジョン2031

素案

キーワードは、

「尼の下水道を次の世代へ」

本市は昭和初期から阪神工業地帯の中核として発展し、工業用水としての地下水の汲み上げによる地盤沈下によって、毎年のように台風による高潮の被害が繰り返されていました。

それらを解決するため、地盤沈下対策として工業用水道の建設に着手し、高潮対策として防潮堤を建設しました。さらに、内陸部に降る雨は公共下水道で対応することとし、浸水対策効果を早期に発揮させるため、合流式での下水道の整備を促進しました。

現在、老朽化した施設の更新をはじめ、気候変動に伴い頻発する大雨や大規模災害への備え、水需要の減少に伴う使用料収入の減少など、新たな課題が生じています。その課題を克服して、安定した水処理を次の世代へ引き継いでいくことが非常に重要であり、本ビジョンでは、「尼の下水道を次の世代へ」という基本理念のもと、100年後の将来像を見据えて、40年間の財政収支を見通し、直近10年間の計画として新たなビジョン「下水道ビジョン 2031」を策定することとします。

新たなビジョンでは、災害時も含め下水道事業の安定的な運営を引き継いでいけるよう、利用者の皆様とともに考え、必要とする取組を選択し、集中して取り組んでいきます。そして事業者としての使命を果たして、「尼の下水道を次の世代へ」とつないでいきます。

私たちが目指す将来像は、このような下水道です。

まちの くらしを支える

効率的かつ持続可能な下水道

ストックマネジメント手法とデジタル技術の活用により、省エネルギー化と下水道資源の有効活用による創エネルギー化が図れるとともに、効率的な施設管理によって、下水道施設の機能を最大限に発揮させる「効率的かつ持続可能な下水道」を目指します。

災害から 守り備える

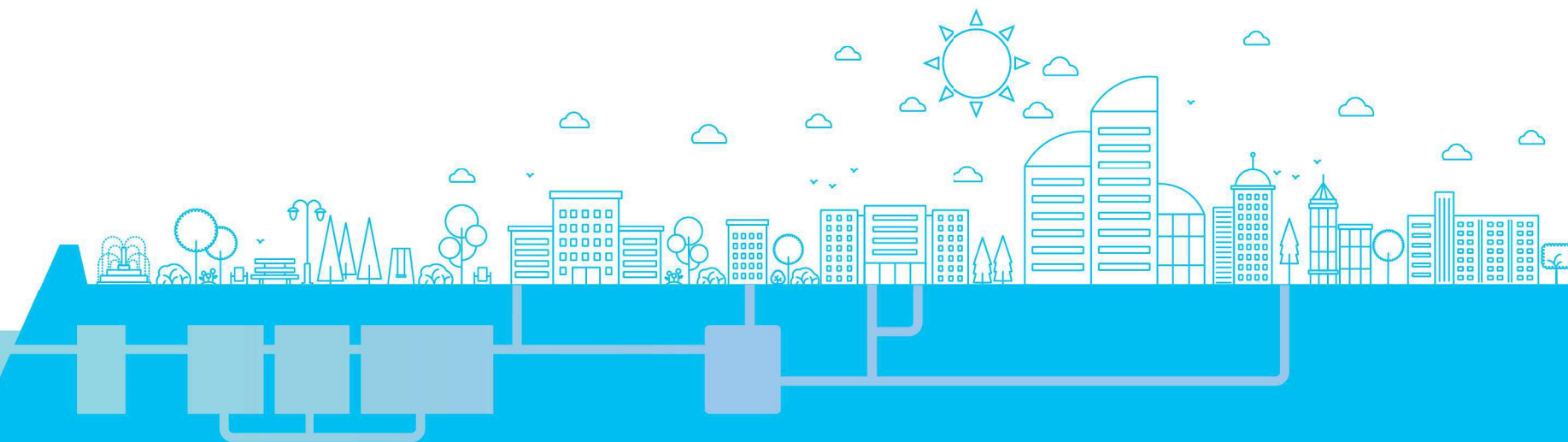
復元力の高い下水道

下水道施設の能力強化による被害の最小化を図り、災害発生前でのデジタル技術による災害リスク情報の発信を自助・共助につなげ、地域住民の相互協力による地域防災力を強化し、被災後は業務継続計画（BCP）により下水道機能の早期回復を図るといった「復元力の高い下水道」を目指します。

将来へ 事業をつなげる

経済的で安定的な下水道

都市活動や市民の生活を支える重要なライフラインとして、持続可能な事業運営の確保に向け、中長期的な視点に立った経営基盤の強化や事業を担う人材の育成による「経済的で安定的な下水道」を目指します。





- 目標一覧 P69
- 計画の位置づけ P71
- ビジョン実現にむけて P73
- 尼崎市下水道事業のあゆみ P75
- 尼崎市下水道ビジョン 2031 策定過程 P77
- 尼崎市公営企業審議会委員名簿 P78
- 用語解説 P79